

知られざる



竹喬

新出作品と新資料から

The Unseen Chikkyo:

From Newly Discovered Works and Materials

2025.12.13 SAT 2026.2.8 SUN

休館日：毎週月曜日（ただし、1月12日は開館し、翌13日は休館）、年末年始（12月29日|月|～1月3日|土|）

開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）

入館料：一般800（650）円 ※（ ）内は団体20名以上 ※前売りは一般個人のみ（600円） ※高校生以下無料（学生証をご提示ください）

※市内在住の65歳以上は無料、市外在住の65歳以上は団体料金（住所・年齢のわかるものを必ずご提示ください）

展 1969年 第22回交会展 個人蔵

 笠岡市立竹喬美術館

〒714-0087 岡山県笠岡市六番町1-17
TEL 0865-63-3967 FAX 0865-63-4496



八瀬村頭 1926年頃 個人蔵



マスカット 1945年頃 個人蔵



志摩之波切村 1919年 個人蔵

The Unseen Chikyo: From Newly Discovered Works and Materials

知られざる竹喬

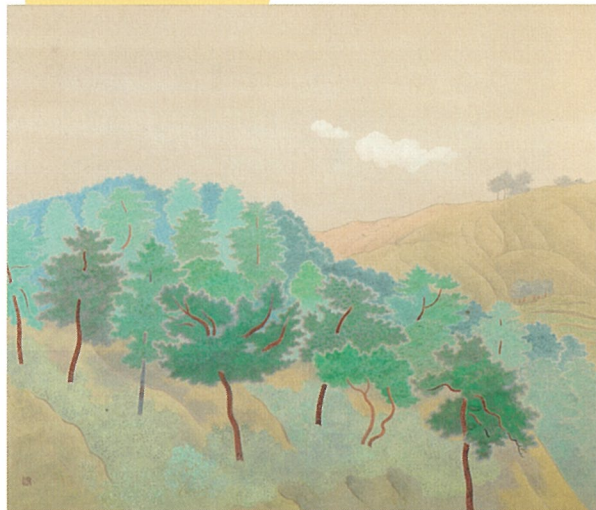
新出作品と新資料から

令和元年(2019年)に笠岡市立竹喬美術館で小野竹喬生誕130年の記念展覧会が開催されて以降、令和7(2025)年で6年が経過します。その間、新たな竹喬作品や関連資料が発見されており、今まさに公開の時期を迎えています。

なかでも、84年ぶりの公開となる、昭和16(1941)年の第6回京都市展の出品作《晴(晴日)》は、京都市展以降、日の目を浴びなかった作品です。また、《奥の細道句抄絵》シリーズの「あかあかと日は面難もあきの風」の初期の構想画は、この度の調査で新たに見つかった資料で、竹喬の作画の変遷がうかがえる貴重な資料です。他にも、スケッチ類や自筆原稿などの貴重な資料類が、新たに発見されています。

当館がこれまで蓄積してきた竹喬に関する研究資料も駆使し、竹喬作品やスケッチ、新出の文字資料等を通して、新たな側面に焦点を当てることで、竹喬芸術について理解を深めるきっかけとなれば幸いです。

84年ぶりの公開!



晴(晴日) 1941年 第6回京都市展 笠岡市立竹喬美術館蔵

関連行事 詳細は美術館にお尋ねください (0865-63-3967)

講演会「新出資料から知る竹喬」

1月18日|日| 13:30~14:30 講演者: 柴田就平(当館学芸員)

学芸員によるギャラリートーク

12月13日|土|、2月1日|日| ともに13:30~14:30



篠野 1967年 一哉堂画廊十周年記念展 個人蔵



鴨川夜景 1973年頃 個人蔵



秋意 1976年頃 個人蔵

●今後の展覧会

テーマ展「竹喬美術館 春夏秋冬」2026年2月28日|土|~6月28日|日|

(会期中展示替えあり)

笠岡市立竹喬美術館

〒714-0087 岡山県笠岡市六番町1-17 TEL 0865-63-3967 FAX 0865-63-4496
<https://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/museum/>



●交通

山陽自動車道 笠岡I.C.から 15分

JR山陽本線笠岡駅から

●タクシー 5分

●徒歩25分

●笠岡駅前4番のりば

神島(こうのしま)循環/乗時(のりとき)行き/
 美の浜(みのはま)行き 「市民会館・竹喬美術館前」
 下車すぐ 所要5分・160円

